

第99回運営委員会概要 2月15日(火) 18:30~21:30

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 研修室
- ◆出席委員：新野・川口・佐藤・三宮・高橋(武)・武本・牧委員 …7名
- ◆オブザーバー：保安院/竹本所長 エネ庁/七部所長
東電/長野副所長・西田技術担当・森 GM
- ◆事務局：市/野澤主任 広報センター/井口事務局長

視点46号(第91回定例会分)について

- ・リードをつけて今回のメインテーマである意見交換への導入をスムーズにする
- ・委員意見を内容ごとに仕分け、表題をつけてわかりやすく分類する
- ・事務局案を読みやすくして校了

次回以降定例会内容について

- 〈委員〉通常、定例会においてオブザーバーより「前回からの動き」の説明があるが、会議内容との重複を避けるため、事象についての説明(東京電力)→それについての見解、評価(保安院・県・市・村)→質疑応答とすればわかりやすいのではないか。
- 〈委員〉そうなれば事象ごとにテーマがまとまり、質疑などもしやすくなる。
- 〈委員〉改善のひとつの案としてはいいと思うが、そのやり方が定着するのはどうか。時間がかかりすぎるのではないか。
- 〈委員〉大きなテーマについて議論し、細かいことについては資料を見てもらうということで会議の時間を有効に使えばよい。
- 〈会長〉委員にとってわかりやすい会議を行う改善策のひとつとして試してみたい。
- (委員 了解)
- 〈市〉原子力防災訓練についての反省会議が16日(水)に行われる。地域の会で出された意見が資料として掲載される。
- 〈会長〉地域の会の活動結果でもあるので、次回定例会の「前回以降の動き」の中で報告してほしい。
- 〈会長〉新年度の最初の会議(5月定例会)で会の成り立ちや役割、リスクコミュニケーションなど講師から話をしてもらうのはどうか。
- 〈委員〉地域の会にはいろんな意見があり正解はない。講師は選べないと思う。
- 〈委員〉任命式もあり、時間がとれないと思う。県、市長、村長からこの会に期待することを話してもらうのはどうか。
- (委員 了解)

【決定事項】

- 〈3月議題・タイムスケジュール(案)〉
- 18:30~19:00 前回以降の動き(東京電力・保安院・県市村)
- 19:00~19:15 制御棒のひびわれについての経過説明、加振試験の内容、状況説明(東京電力)
- 19:15~20:00 質疑応答
- 20:00~20:10 島根原発の点検漏れを受けての説明(東京電力)(保安院)
- 20:10~ 質疑応答、その他

- ・4月定例会は新年度の活動予定を委員から提案してもらい、大まかに計画を考えたい。
- ・5月定例会は新委員の任命授与式。その後、柏崎市長、刈羽村長から会について期待することなど含め話しをもらう。

その他

◆次年度の予定について

- 〈会長〉 県外視察について、1泊2日の近距離であれば新年度は行える。
- 〈委員〉 年に1回開催される情報共有会議を新年度予定に明記しておいたほうが全員の認識につながる。
- 〈委員〉 2月定例会から気になっているが、会のあり方について問う議論をしていくことは会の会則範囲を逸脱し、会則の変更に進んでいくことになるのではないか。
- 〈委員〉 地域の会についての役割など委員全員が、これでいいのか今後どうあるべきかという議論はあってもよい。
- 〈会長〉 会則の変更という意味ではなく、透明性を確保する地域の会としての役割など会則の範囲の中で委員のコンセンサスを図る目的。設立から8年が経過している。地域の会の始まりである準備会の経緯を含め、会の役割やあり方、今後の活動など共通の認識を持つことは必要ではないかと思う。

◆第四次総合計画後期基本計画策定の合同市民会議について

- 〈会長〉 資料がとても興味深い内容だったので配布した。

◆新潟工科大学原子力耐震・構造研究センター視察について

- 〈事務局〉 2月26日（土）に視察予定。
- 〈会長〉 地域の会だけでなく他に参加いただける方がいれば声をかけて参加人数を事務局まで連絡してほしい。
- 〈事務局〉 2月22日（火）までに連絡をしていただきたい。
- 〈委員〉 了解

次回運営委員会

3月16日（水） 18：30～21：00